

令和5年度 横浜市立四季の森小学校 学校だより

このまちに生き、共に輝く子



四季の森



5月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shikinomori/>

雑草という名の植物はありません



学校長 森脇 信行

昨年度の学校だより5月号にも書かせてもらいましたが、私は学校のグラウンドの片隅に咲いている小さな野草が大好きです。これらの植物は花壇に咲いている植物のように人間に名前を覚えてもらって、大切に育ててもらっているわけではありません。それどころか、雑草というひとまとめにされた名をつけられ、正しく名前を呼んでももらえることさえ少ない植物です。「雑草という名の植物はありません。」この言葉は、牧野富太郎博士（大正、昭和初期の植物学者）が残し、昭和天皇が使われた有名な言葉です。

今年は、4・5・6年生の授業で『牧野日本植物図鑑』を片手に校庭の野草の色塗りと名前の暗記に取り組みました。上白根中と旭北中で合わせて16年間、中学1年生で取り組んだ内容です。（他校も含めると26年間）

学生版 牧野日本植物図鑑は日本で唯一の白黒の図鑑です。私は小学4年生の誕生日に、父親から、『学生版 牧野日本植物図鑑 北隆館』をプレゼントでもらい、「一生かけて本物を見ながら色塗りをしなさい」と言われました。また、私も娘の小学4年生の誕生プレゼントはこの図鑑にし、同じように、一生かけて本物を見ながら色塗りするように伝えました。先日の授業で、このことを子どもたちに話したところ、電話などで保護者から図鑑の問い合わせが数件あり、うれしく、心温まる感覚になりました。

1年前から楽しみにしていた「らんまん」（神木隆之介君が牧野先生をモデルとして演じている朝の連続テレビ小説）が始まりました。また、昨年度「学生版 牧野日本植物図鑑 北隆館」が図書館に1冊入りました。子どもたちが、身近な野草に触れて名前を覚えることによって、自然に対する見方が変わり、見方が変わったことによって、考え方が変わる。考え方が変わったことによって、行動が変わる。子どもたちのそんな姿に出会いたい。

